

トヨタ、工場建設に着手 アルミホイールの生産へ

トヨタ自動車は、昨年の十二月一日、バンクーバー郊外でアルミホイール工場の起工式を行い、工事に着手した。

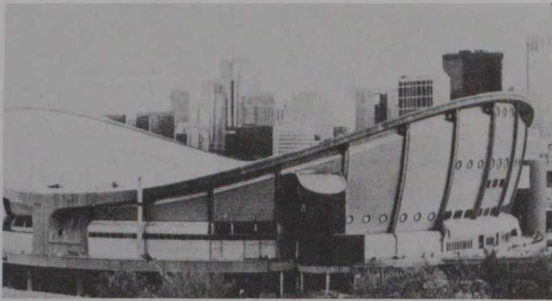
トヨタ自動車は、フリテイツ・コロンビア州の誘致を受けて、昨年春、同社の全額出資会社「カナディアン・オートパーツ・トヨタ」(資本金七百万カナダドル)を設立した。約六万平方メートルの用地に総工費約四十五億円、従業員百人程の工場を建設、来年夏の操業をめどに月間二万個のアルミホイールを生産する計画である。

原材料はカナダ最大のアルミ会社アルキヤンから提供を受け、製品の七、八割は日本向けに輸出、残りはカナダ国内や米国で補修部品として使うことになっている。

カーリングが五輪種目に 日本でも全国大会への動き

日本では年々盛んになっているカーリングが、一九八八年にカナダのカルガリーで開催される冬期オリンピック大会で正式競技種目になることが、国際オリンピック委員会(IOC)理事会で決まった。

円形の花こう岩とブルーム(ほうき)を使って氷の上で競技するカーリングは、十六世紀初めにはすでにスコットランドで行われていたといわれ、現在ではカナダをはじめ、米国、スウェーデン、イス、ノルウェー、フランス、西ドイツ、イギリスなどで、冬のスポーツとして広く親しまれている。カーリング人口が四十万人とも五十万人ともいわれるカナダでは、毎年、青少年や、女子、一般、高齢者の全国大会も開かれている。



鞍の形をしたこの建物は、その名もサドルドーム。1988年にアルバータ州カルガリーで開催される冬期オリンピックに向けて最近完成した。

日本では、北海道の池田町が昭和五十三年に本格的に採り入れて以来、北海道を中心に年々盛んに

なった。北海道では十七の地区協会が道カーリング協会を結成しており、また東京でもカーリング・クラブおよびカーリング協会ができてくるほか、愛知、長野、富山の各県で、協会設立の機運が高まっている。名古屋市には、昨年十一月、日本で初めての専用リンク(星ヶ丘スポーツP&S)も開設された。

関係者の間では、いま、日本カーリング協会の設立、そして全国カーリング大会の開催へと、準備が進んでおり、オリンピック参加に向けて動きだした。

穀物運賃を引き上げ 西部の鉄道網も大幅増強

一八九七年に、連邦政府とカナダ太平洋鉄道会社との間で合意されて以来据え置かれたままになっていた西部カナダにおける穀物輸送の法定レート(クロー・レート)が、引き上げられることになった。

政府がロッキーマウンテンのけわしいクロー峠に支線を通すため、鉄道会社に工事費を補助し、その代わり、鉄道会社が東部カナダから平原地方向けの一定の商品および西部から東部向けの穀物について輸送料金を低率に抑えることにしたのでクロー・レート。西部カナダの農家は、これによって、比較的安い料金で穀物を内外の市場へ出荷できた。しかし、鉄道会社やそれに補助をする政府にとっては負担がかさむばかりで、そのために輸送網の整備にブレーキがかかっ

ていた。

昨年十一月にクロー・レートを改訂する法案が議会を通過した結果、穀物トン当り、現在のおよそ四ドル九十セントから一九九一年秋までに二十五ドル六十セントへと引き上げられることになった。

一方で、六大穀物だけだった対象品目に、アルファルファ・ペレットなど七品目が追加された。

政府は、また鉄道会社に対し、年間六億五千八百万ドルの補助金を支給することになっている。それに対応して、カナダ太平洋鉄道、カナダ国鉄とも、複線化、通信設備の近代化など、大規模な輸送力増強計画を立てている。アックス・ワシー運輸大臣によると、今度の法律改正により、百四十億ドルの経済効果が期待でき、雇用にも大きく貢献するだろうという。

多人数を一度に救出 ゴンドラ型の網で

海上での遭難やビル火事で、一度に二十人もの人々を救出できる特殊な「かご」が、カナダで開発された。

これは、一九八二年一月に米国の首都ワシントンのポトマック川にジェット機が墜落して七十八人もの命を奪った事故で、多くの乗客が冷たい川の中で何時間も助けを求めながら沈んでいったことを知ったフリテイツ・コロンビア州リッチモンドのジム・ブラッドリーさんが、勤め先であ

るダート・エアロ・システムズ社のエンジニア仲間と一緒に考案したものの。



緊急多人数救助装置(EMPPRA)と呼ばれるこのかごは、ちょうど地球のゴンドラのような形をしている(写真)。ヘリコプターや船のクレーンから下り下げて、一度に二十人を運ぶことができるという。上部に円形の浮き袋がついていて、水上ではそこまですっぽり水につかるため、どんなに疲労あるいは怪我している人でもその中に入る事ができる。またビルの屋上では、浮き袋の部分が床につくので、幼児や老人でも簡単に乗り込めるという。

石油掘削リグなどの事故でも威力を発揮しそうで、すでにエツソ・ベトロ・カナダ、ドーム石油などがEMPPRAを備えつけている。

国防省で禁煙大作戦

カナダ国防省では、昨年、軍人・民間人を含む省内の全員を対象に、禁煙大作戦を開始した。結果は、五〇パーセントの成功率。

「三五パーセントでもすばらしいといわれているから、この結果